

地場企業の経営動向調査

(平成27年度第3・四半期)

平成28年1月27日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,414社（構成比率94.3%）、大企業86社（構成比率5.7%）により構成されている。

回答した企業数は407社、回答率27.1%となっており、回答企業の内訳は、中小企業382社（構成比率93.9%）、大企業22社（構成比率5.4%）、無回答0.7%となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めらるもので、今回は平成27年10～12月期の実績、及び平成28年1～3月期の予想について、平成27年12月末時点で調査した。

調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点

平成27年度 第3四半期

調査対象企業数及び回収結果

規 模 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	1,500	407	27.1%	
中 小 企 業	1,414	382	27.0%	93.9%
大 企 業	86	22	25.6%	5.4%
無 回 答	—	3	—	0.7%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	1,500	407	27.1%	
建 設 業	221	63	28.5%	15.5%
土木建設業	77	20	26.0%	4.9%
建設付帯工事業	68	16	23.5%	3.9%
電気・管工事業	76	27	35.5%	6.6%
製 造 業	157	59	37.6%	14.5%
食料品製造業	51	30	58.8%	7.4%
繊維製品製造業	8	1	12.5%	0.2%
建材・木・紙製品製造業	5	3	60.0%	0.7%
印刷・製本業	24	4	16.7%	1.0%
窯業・土木製品製造業	3	1	33.3%	0.2%
金属製品製造業	15	2	13.3%	0.5%
一般機械器具製造業	18	8	44.4%	2.0%
電気機械器具製造業	13	6	46.2%	1.5%
その他製造業	20	4	20.0%	1.0%
卸 売 業	224	78	34.8%	19.2%
食料品卸売業	58	29	50.0%	7.1%
繊維製品卸売業	21	5	23.8%	1.2%
建材・住宅機器卸売業	26	12	46.2%	2.9%
金属・鋼材卸売業	2	1	50.0%	0.2%
一般機械器具卸売業	32	8	25.0%	2.0%
石油・化学製品卸売業	11	5	45.5%	1.2%
その他卸売業	74	18	24.3%	4.4%
小 売 業	202	48	23.8%	11.8%
食料品小売業	52	16	30.8%	3.9%
衣料品・身の回り品小売業	23	4	17.4%	1.0%
石油・化学製品小売業	4	0	0.0%	0.0%
車両運搬具小売業	11	1	9.1%	0.2%
家電・厨房器具小売業	11	5	45.5%	1.2%
量販店	2	1	50.0%	0.2%
その他小売業	99	21	21.2%	5.2%
運 輸 ・ 倉 庫 業	38	19	50.0%	4.7%
旅客運送業	21	10	47.6%	2.5%
貨物運送・倉庫業	17	9	52.9%	2.2%
サ ー ビ ス 業	658	137	20.8%	33.7%
情報処理サービス業	63	15	23.8%	3.7%
その他事務所サービス業	413	93	22.5%	22.9%
ホテル・旅館・飲食業	80	13	16.3%	3.2%
その他の個人サービス業	102	16	15.7%	3.9%
無 回 答	—	3	—	0.7%

調査結果のポイント

【 業況について 】

- 今四半期（H27年 10～12月）の地場企業の景況判断指数（DI 値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は 26.8%（前期比+0.8 ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は 29.5%（前期比-2.3 ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は 42.5%（前期比+1.6 ポイント）となった。DI 値は▲2.7（前期 DI 値▲5.8）となり、前期比で+3.1 ポイントと 2 期連続の改善となった。ただし、平成 26 年 4 月以降に DI 値の大きな変動はなく、横ばい圏内で推移しており、地場企業の景況感は足踏み状態が続く。
- 規模別にみると、調査対象の 9 割以上を占める中小企業が▲3.5（前期比+3.1 ポイント）で 2 期連続の改善。大企業は 9.1（前期比+1.1 ポイント）と 3 期連続の改善となった。
- 業種別にみると、製造業（前期▲22.9→今期 5.0）、建設業（0.1→8.0）、サービス業（▲1.0→0.7）は改善となった。一方、運輸・倉庫業（30→15.8）、小売業（▲10.2→▲20.8）、卸売業（▲11.3→▲16.7）が悪化となった。
- 次期四半期（平成 28 年 1 月～3 月）予測 DI 値については▲5.8 となっており、今期比-3.1 ポイントと再び悪化の見通し。改善に向けた動きは鈍く、先行きに慎重な姿勢は変わらず、足踏み状態が続く。

【 項目別の動向について 】

- 項目別にみると、原材料・製(商)品仕入価格 DI（前期 28.1→今期 18.2）及び受注価格・販売価格 DI（▲2.6→▲6.1）はともに 2 期連続の下落となった。一方、生産額・売上額・完成工事高 DI（▲5.8→▲1.7）は 2 期ぶりの改善、営業利益 DI（▲20.4→▲10.5）は 3 期ぶりの改善、資金繰り DI（▲12.1→▲9.4）は 2 期連続の改善となった。
- 当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」41.8%（前期比+4.9 ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」36.9%（前期比+1.6 ポイント）、「営業利益の低下」30.2%（前期比-0.4 ポイント）、「経費の増加」20.6%（前期比-6.4 ポイント）、「販売価格への転嫁難」17.2%（前期比-0.3 ポイント）となった。
- 業種別でみると、建設業では「人材難、求人難、定着化の悪化」52.4%、製造業では「販売価格への転嫁難」42.4%、卸売業では「受注、需要の増加又は減少」44.9%、小売業では「営業利益の低下」33.3%、運輸・倉庫業では「人材難、求人難、定着化の悪化」84.2%、サービス業では「人材難、求人難、定着化の悪化」47.4%がそれぞれ最も多かった。

1. 自社・業界の景況

《2期連続の改善。次期は悪化の見通し》

今四半期（H27年10～12月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は26.8%（前期比+0.8ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は29.5%（前期比-2.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は42.5%（前期比+1.6ポイント）となった。DI値は▲2.7（前期DI値▲5.8）となり、前期比で+3.1ポイントと2期連続の改善となった。

規模別にみると、調査対象の9割以上を占める中小企業が▲3.5（前期比+3.1ポイント）で2期連続の改善。大企業は9.1（前期比+1.1ポイント）と3期連続の改善となった。

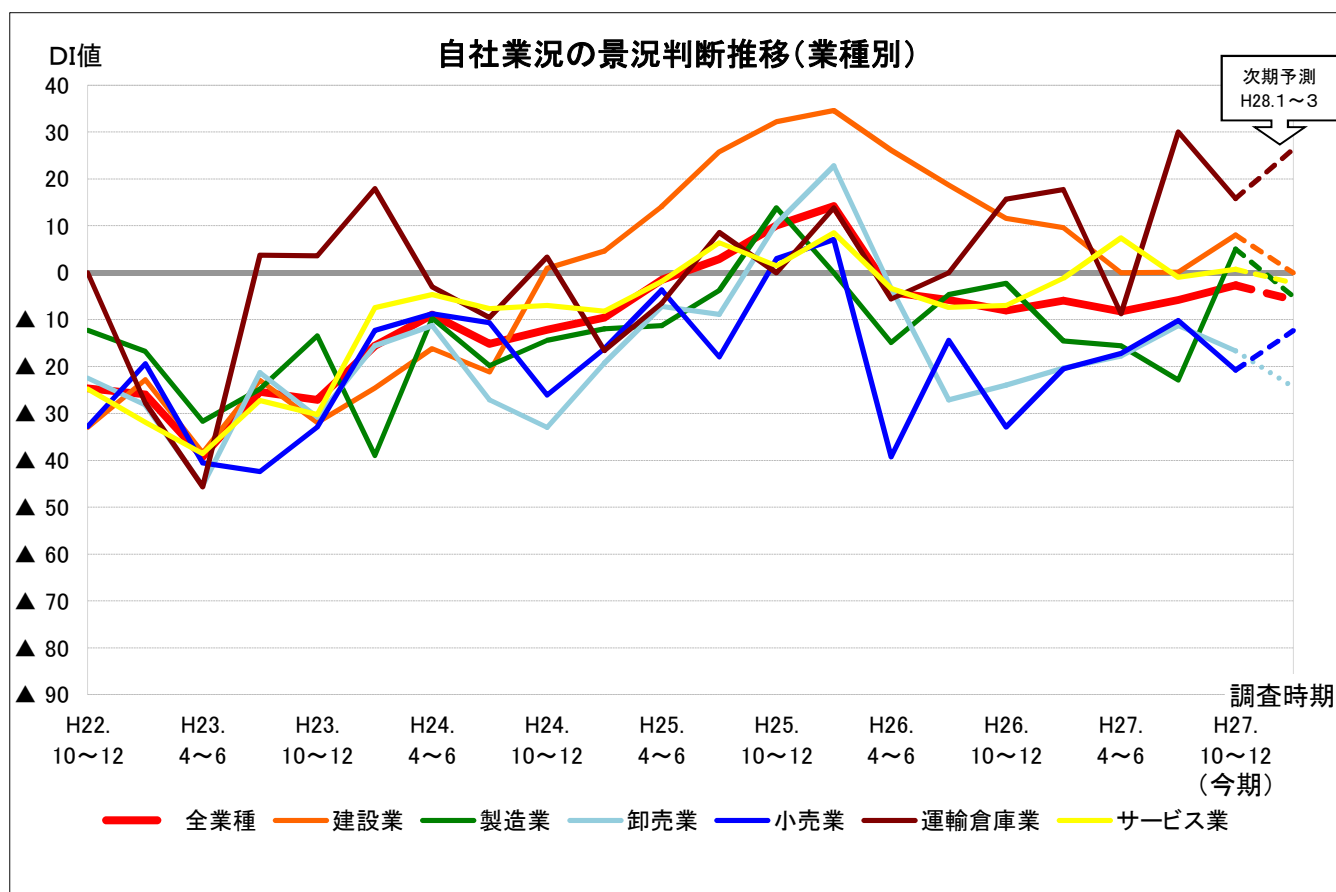
業種別にみると、製造業（前期▲22.9→今期5.0）、建設業（0.1→8.0）、サービス業（▲1.0→0.7）と改善したが、運輸・倉庫業（30→15.8）、小売業（▲10.2→▲20.8）、卸売業（▲11.3→▲16.7）が悪化。

次期四半期（平成28年1月～3月）予測については、▲5.8となっており、今期比-3.1ポイントと悪化の見通しとなる。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(27年10～12月期)実績							次四半期(28年1～3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.7	25.1	42.5	21.9	7.6	1.2	▲2.7	1.0	18.7	45.2	22.1	3.4	9.6	▲5.8
建設業	1.6	30.2	44.4	19.0	4.8	0.0	8.0	0.0	25.4	41.3	22.2	3.2	7.9	0.0
製造業	0.0	32.2	40.7	15.3	11.9	0.0	5.0	0.0	20.3	42.4	22.0	3.4	11.9	▲5.1
卸売業	2.6	17.9	39.7	30.8	6.4	2.6	▲16.7	0.0	9.0	46.2	32.1	1.3	11.5	▲24.4
小売業	0.0	22.9	33.3	22.9	20.8	0.0	▲20.8	0.0	16.7	43.8	22.9	6.2	10.4	▲12.4
運輸・倉庫業	0.0	42.1	26.3	15.8	10.5	5.3	15.8	0.0	42.1	31.6	15.8	0.0	10.5	26.3
サービス業	2.9	21.9	49.6	21.2	2.9	1.5	0.7	2.9	16.8	50.4	17.5	4.4	8.0	▲2.2
中小企業	1.8	24.3	42.9	21.5	8.1	1.3	▲3.5	1.0	18.1	45.0	22.0	3.7	10.2	▲6.6
大企業	0.0	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	22.7	50.0	27.3	0.0	0.0	▲4.6



2. 生産額、売上額、完成工事高

《2期ぶりの改善、次期は悪化の見通し》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種平均で「増えた」と回答した企業は23.1%（前期比+2.8ポイント）、「減った」と回答した企業は24.8%（前期比-1.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業は48.2%（前期比-1.2ポイント）となっており、DI値は▲1.7（前期DI値▲5.8）と前期比+4.1ポイントの改善となった。

業種別にみると、製造業（前期▲12.1→今期▲0.1）、サービス業（▲4.4→2.9）、建設業（▲4.2→▲1.5）、卸売業（▲7.1→▲5.2）では改善となった。一方、運輸・倉庫業（30.0→15.8）、小売業（▲14.4→▲18.8）で悪化となった。

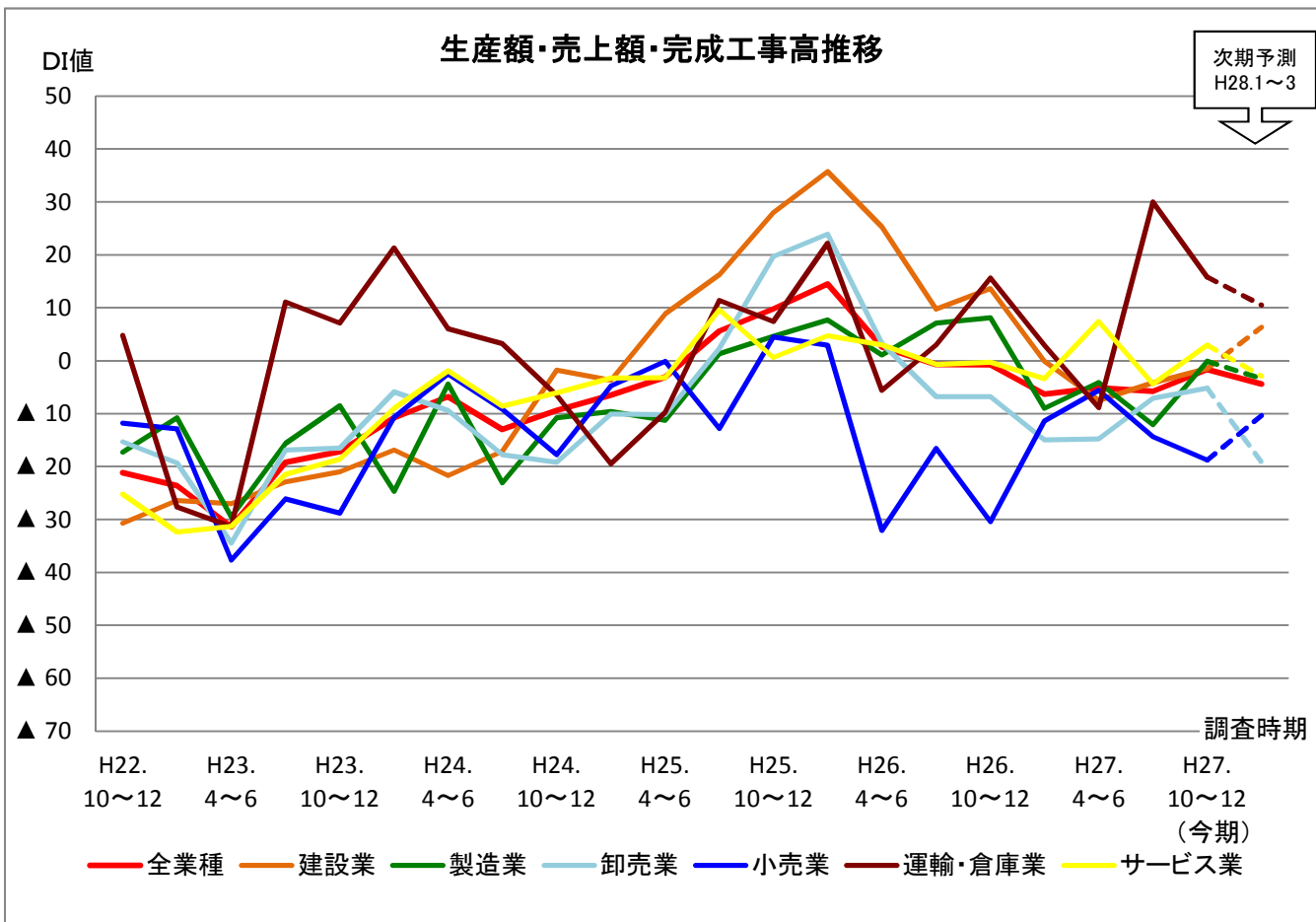
規模別にみると、中小企業（前期▲6.6→今期▲2.8）、大企業（12.0→18.1）とともに改善となった。

次四半期（平成28年1月～3月）予測については、▲4.4となっており、今期比で-2.7ポイントと悪化の見通し。

《生産額、売上額、完成工事高（前年同期と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(27年10～12月期)実績							次四半期(28年1～3月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	4.9	18.2	48.2	17.4	7.4	3.9	▲1.7	1.2	14.3	51.6	15.7	4.2	13.0	▲4.4
建設業	4.8	15.9	54.0	20.6	1.6	3.2	▲1.5	0.0	20.6	54.0	12.7	1.6	11.1	6.3
製造業	5.1	20.3	47.5	15.3	10.2	1.7	▲0.1	0.0	20.3	45.8	20.3	3.4	10.2	▲3.4
卸売業	3.8	16.7	48.7	23.1	2.6	5.1	▲5.2	1.3	5.1	51.3	25.6	0.0	16.7	▲19.2
小売業	6.2	16.7	33.3	22.9	18.8	2.1	▲18.8	0.0	12.5	54.2	14.6	8.3	10.4	▲10.4
運輸・倉庫業	5.3	31.6	26.3	15.8	5.3	15.8	15.8	0.0	26.3	36.8	15.8	0.0	21.1	10.5
サービス業	5.1	17.5	54.0	12.4	7.3	3.6	2.9	2.9	11.7	54.7	10.2	7.3	13.1	▲2.9
中小企業	5.0	17.3	48.4	17.5	7.6	4.2	▲2.8	1.3	13.6	51.0	15.7	4.5	13.9	▲5.3
大企業	4.5	31.8	45.5	18.2	0.0	0.0	18.1	0.0	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0	0.0



3. 原材料、製（商）品仕入価格

《2期連続の下落、次期も下落する見通し》

原材料、製（商）品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は25.3%（前期比-6.2ポイント）、「下落」と回答した企業は7.1%（前期比+3.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業は49.4%（前期比+2.2ポイント）となっており、DI値は18.2（前期DI値28.1）と前期比-9.9ポイント下落となった。

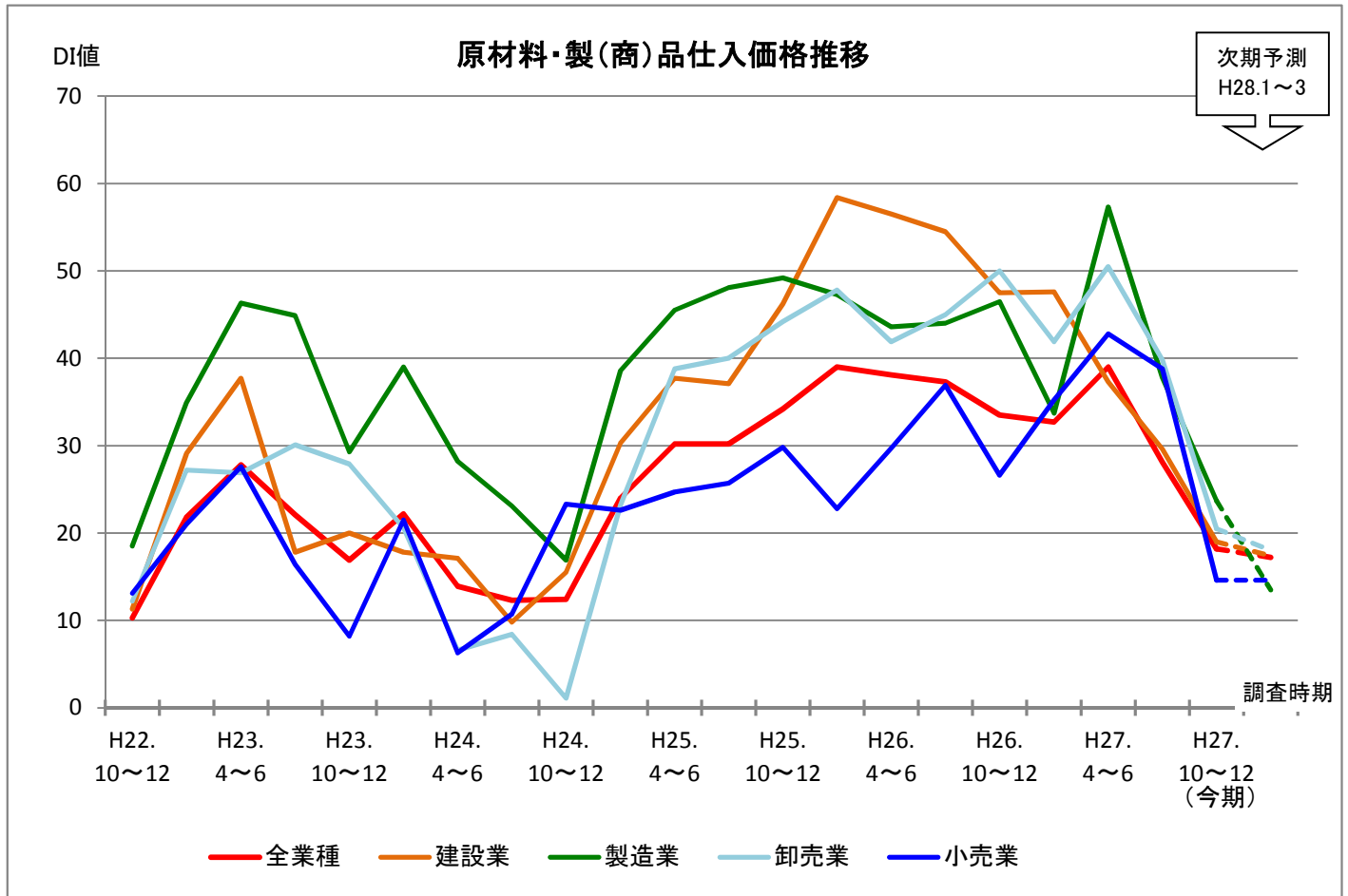
業種別にみると、サービス業（前期18.5→今期20.4）と上昇。一方、小売業（38.8→14.6）、卸売業（39.8→20.5）、製造業（37.8→23.7）、建設業（29.6→19.0）、運輸・倉庫業（▲10.0→▲10.6）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期27.4→今期18.6）、大企業は（40.0→18.2）とともに下落となった。

次四半期（平成28年1月～3月）予測については、17.2となっており、今期比で-1.0ポイントと下落の見通し。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(27年10~12月期)実績					次四半期(28年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	25.3	49.4	7.1	18.2	18.2	20.9	50.4	3.7	25.1	17.2
建設業	22.2	65.1	3.2	9.5	19.0	19.0	60.3	1.6	19.0	17.4
製造業	30.5	62.7	6.8	0.0	23.7	22.0	59.3	8.5	10.2	13.5
卸売業	30.8	52.6	10.3	6.4	20.5	21.8	57.7	3.8	16.7	18.0
小売業	29.2	47.9	14.6	8.3	14.6	22.9	56.2	8.3	12.5	14.6
運輸・倉庫業	10.5	36.8	21.1	31.6	▲10.6	21.1	42.1	5.3	31.6	15.8
サービス業	22.6	38.0	2.2	37.2	20.4	20.4	38.0	0.0	41.6	20.4
中小企業	25.7	49.2	7.1	18.1	18.6	21.2	49.7	3.4	25.7	17.8
大企業	22.7	59.1	4.5	13.6	18.2	18.2	68.2	4.5	9.1	13.7



4. 受注価格、販売価格

《2期連続の下落、次期も下落する見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は12.3%（前期比+2.2ポイント）、「下落」と回答した企業は18.4%（前期比+5.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業は62.9%（前期比-7.1ポイント）となっており、DI値は▲6.1（前期DI値▲2.6）と前期比-3.5ポイントの下落となった。

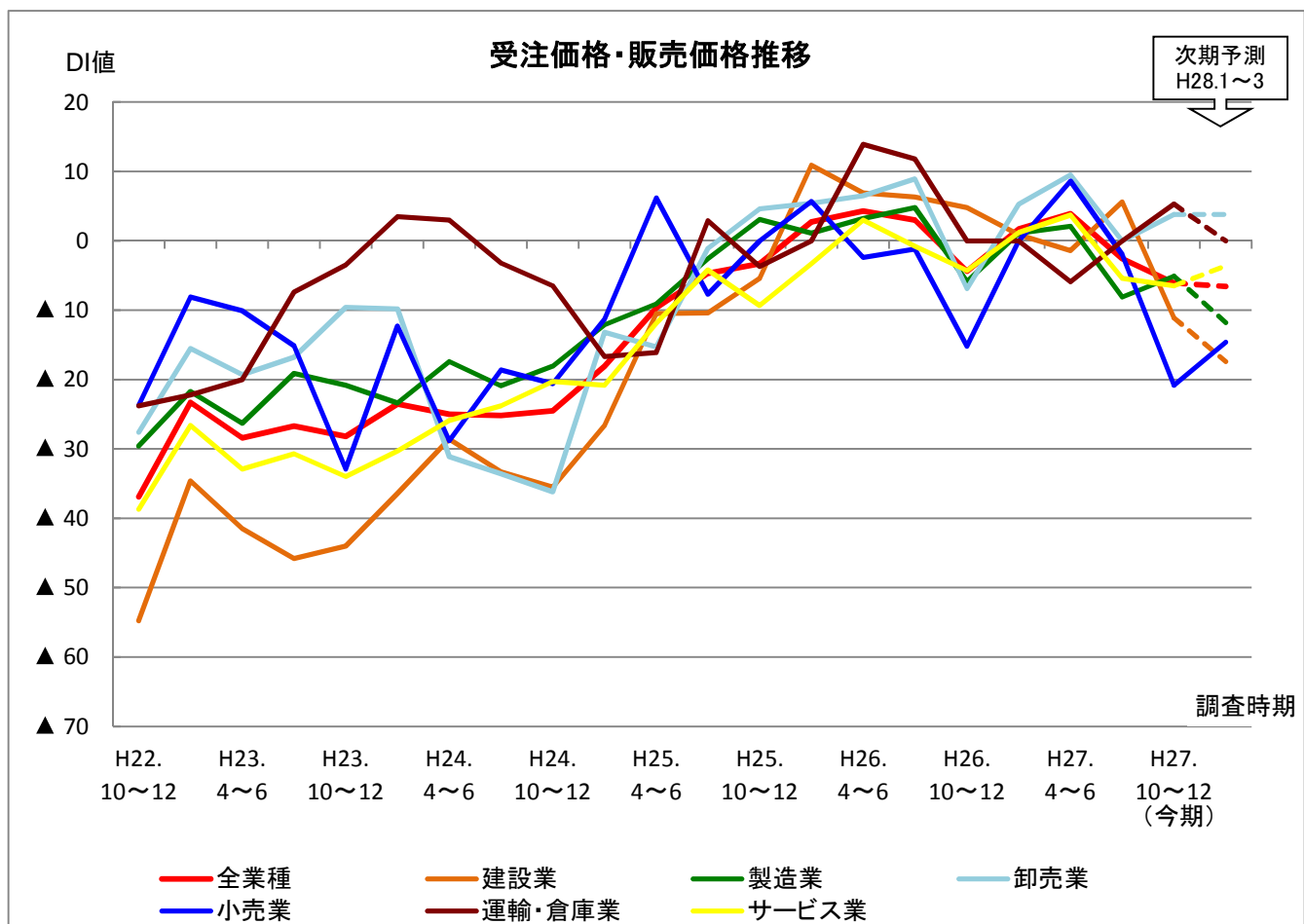
業種別にみると、運輸・倉庫業（前期0→今期5.3）、卸売業（0→3.8）、製造業（▲8.1→▲5.1）と上昇。一方、小売業（▲2→▲20.8）、建設業（5.6→▲11.1）、サービス業（▲5.4→▲6.5）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期▲3.2→今期▲6.3）、大企業（8→▲4.6）とともに下落となった。

次期（平成28年1月～3月）予測については、▲6.6となっており、今期比で-0.5ポイントと下落の見通し。

《 受注価格、販売価格（前年同月と比較して） 》 (単位 %)

	今四半期(27年10～12月期)実績					次四半期(28年1～3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	12.3	62.9	18.4	6.4	▲6.1	7.4	64.9	14.0	13.8	▲6.6
建設業	12.7	58.7	23.8	4.8	▲11.1	4.8	60.3	22.2	12.7	▲17.4
製造業	16.9	61.0	22.0	0.0	▲5.1	8.5	61.0	20.3	10.2	▲11.8
卸売業	20.5	59.0	16.7	3.8	3.8	14.1	61.5	10.3	14.1	3.8
小売業	12.5	47.9	33.3	6.2	▲20.8	4.2	66.7	18.8	10.4	▲14.6
運輸・倉庫業	5.3	73.7	0.0	21.1	5.3	0.0	73.7	0.0	26.3	0.0
サービス業	6.6	71.5	13.1	8.8	▲6.5	6.6	67.9	10.2	15.3	▲3.6
中小企業	12.8	61.5	19.1	6.5	▲6.3	7.6	63.4	14.4	14.7	▲6.8
大企業	4.5	86.4	9.1	0.0	▲4.6	4.5	86.4	9.1	0.0	▲4.6



5. 製（商）品在庫

《前期（3期ぶりの改善）より横ばい、次期は改善の見通し》

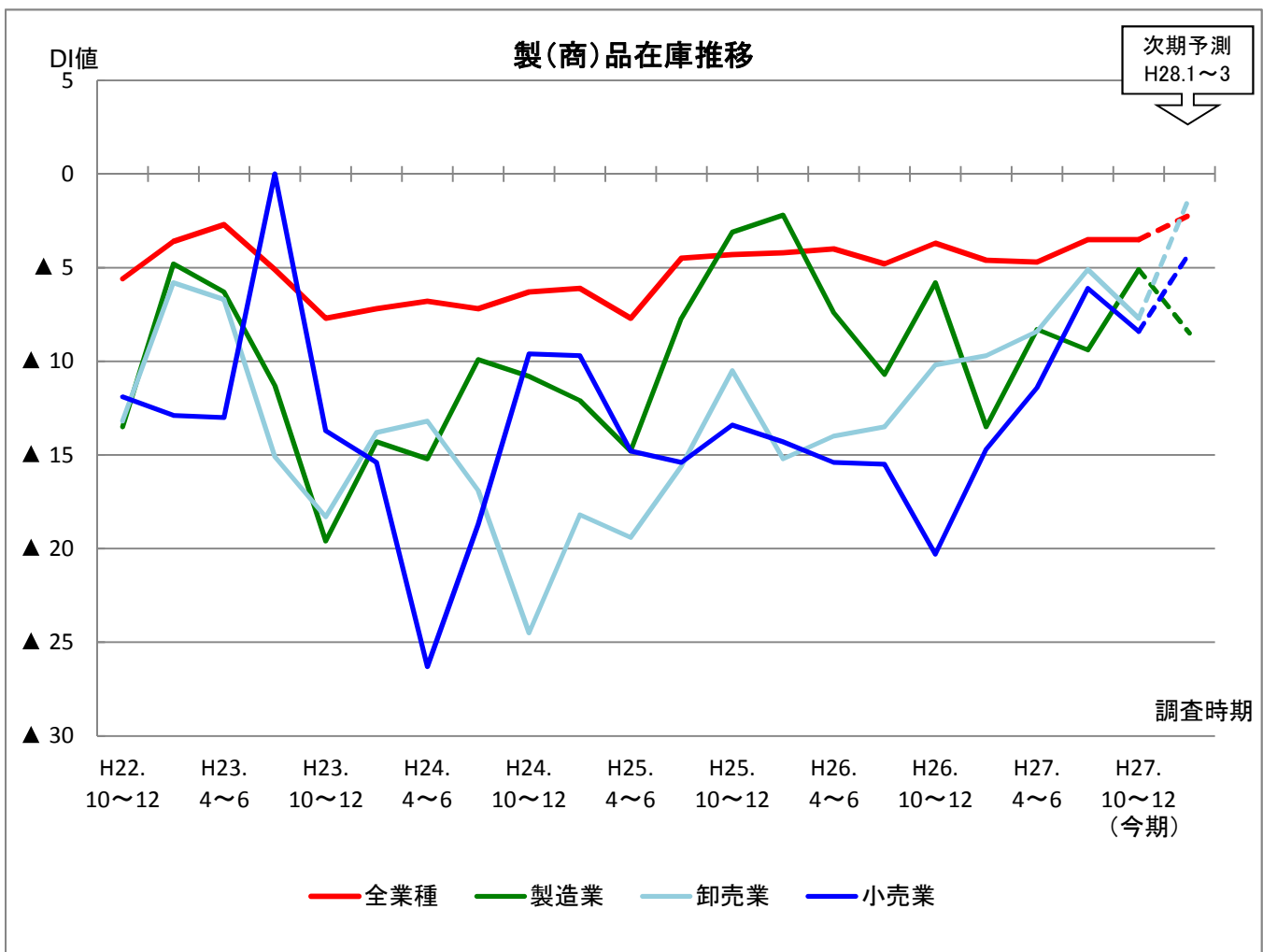
製（商）在庫については、「適正」と回答した企業は62.4%（前期比+2.9ポイント）、「不足」と回答した企業は2.9%（前期比-0.5ポイント）、「過剰」と回答した企業は6.4%（前期比-0.5ポイント）となっており、DI値は▲3.5（前期DI値▲3.5）と前期同様横ばいとなった。

次四半期（平成28年1月～3月）予測については、▲2.2となっており、今期比で+1.3ポイントと改善の見通し。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(27年10～12月期)実績					次四半期(28年1～3月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	2.9	62.4	6.4	28.3	▲3.5	1.7	59.5	3.9	34.9	▲2.2
建設業	0.0	55.6	3.2	41.3	▲3.2	0.0	52.4	1.6	46.0	▲1.6
製造業	5.1	83.1	10.2	1.7	▲5.1	1.7	74.6	10.2	13.6	▲8.5
卸売業	2.6	79.5	10.3	7.7	▲7.7	2.6	78.2	3.8	15.4	▲1.2
小売業	8.3	68.8	16.7	6.2	▲8.4	6.2	70.8	10.4	12.5	▲4.2
運輸・倉庫業	5.3	47.4	5.3	42.1	0.0	5.3	42.1	5.3	47.4	0.0
サービス業	1.5	47.4	0.7	50.4	0.8	0.0	44.5	0.0	55.5	0.0
中小企業	3.1	61.8	6.5	28.5	▲3.4	1.8	58.4	4.2	35.6	▲2.4
大企業	0.0	77.3	4.5	18.2	▲4.5	0.0	81.8	0.0	18.2	0.0



6. 営業利益

《3期ぶりの改善、次期は悪化の見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は22.9%（前期比+7.2ポイント）、「減少」と回答した企業は33.4%（前期比-2.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業は42.0%（前期比-3.8ポイント）となり、DI値は▲10.5（前期DI値▲20.4）と前期比+9.9ポイントの改善となった。

業種別にみると、製造業（前期▲25.7→今期▲3.4）、建設業（▲15.5→▲1.6）、サービス業（▲20.2→▲11.0）、卸売業（▲22.4→▲15.4）、小売業（▲30.6→▲27.1）と改善。一方、運輸・倉庫業（15.0→▲5.2）の悪化となった。

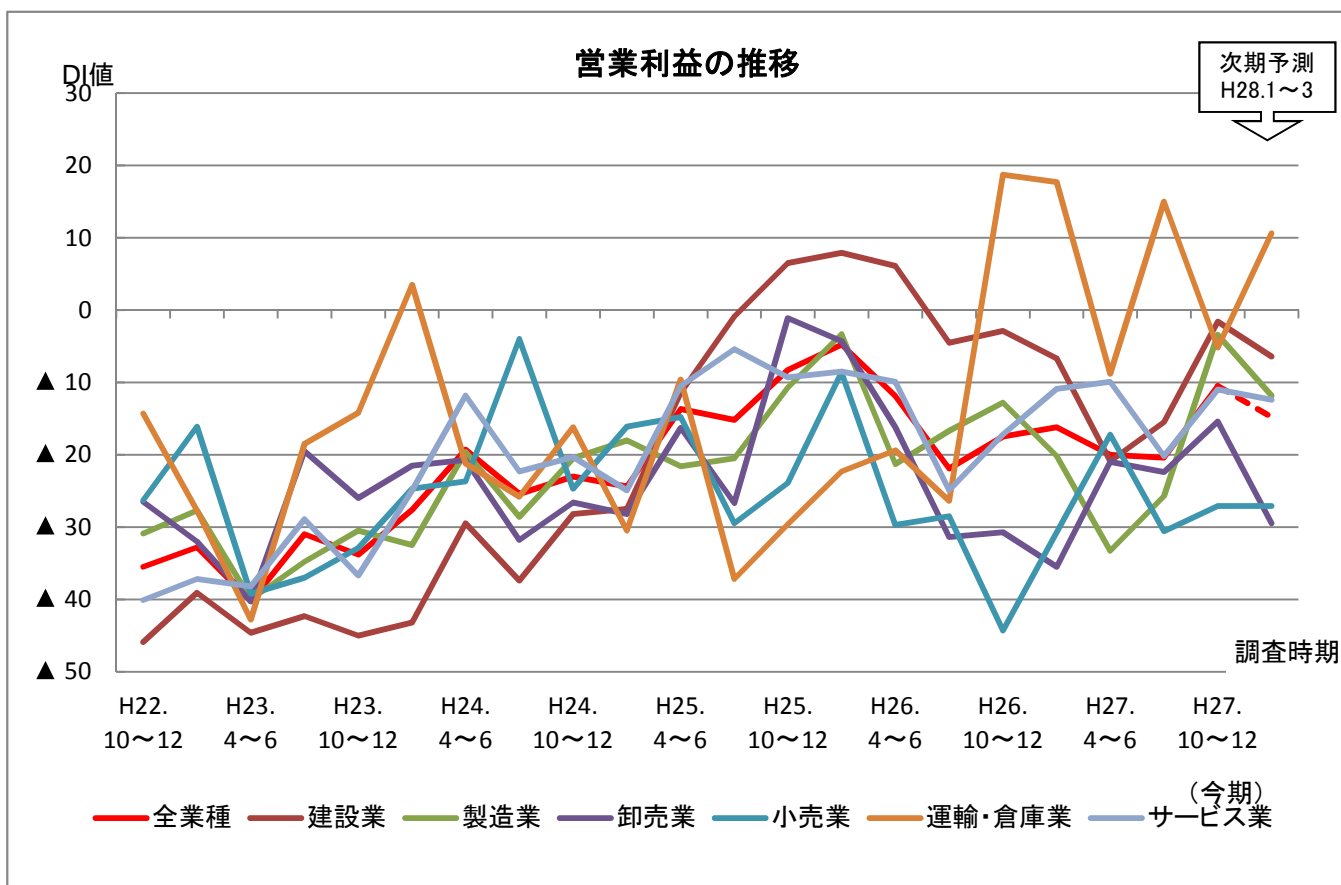
規模別にみると、中小企業（前期▲21.0→今期▲11.7）、大企業（▲8.0→4.5）とともに改善。

次四半期（平成28年1月～3月）予測については、▲14.8となっており、今期比で-4.3ポイントと悪化の見通し。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(27年10~12月期)実績					次四半期(28年1~3月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	22.9	42.0	33.4	1.7	▲10.5	12.5	49.6	27.3	10.6	▲14.8
建設業	27.0	41.3	28.6	3.2	▲1.6	19.0	46.0	25.4	9.5	▲6.4
製造業	28.8	39.0	32.2	0.0	▲3.4	13.6	49.2	25.4	11.9	▲11.8
卸売業	21.8	39.7	37.2	1.3	▲15.4	6.4	44.9	35.9	12.8	▲29.5
小売業	20.8	31.2	47.9	0.0	▲27.1	6.2	52.1	33.3	8.3	▲27.1
運輸・倉庫業	31.6	31.6	36.8	0.0	▲5.2	21.1	52.6	10.5	15.8	10.6
サービス業	18.2	50.4	29.2	2.2	▲11.0	12.4	53.3	24.8	9.5	▲12.4
中小企業	22.3	42.1	34.0	1.6	▲11.7	12.0	49.7	27.0	11.3	▲15.0
大企業	31.8	40.9	27.3	0.0	4.5	13.6	50.0	36.4	0.0	▲22.8



7. 資金繰り

《2期連続の改善、次期は悪化の見通し》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は13.0%（前期比+3.3ポイント）、「苦しい」と回答した企業は22.4%（前期比+0.6ポイント）、「不変」と回答した企業は63.1%（前期比-0.3ポイント）となっており、DI値は▲9.4（前期DI値▲12.1）と前期比+2.7ポイントの改善となった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期▲15.0→今期▲5.2）、卸売業（▲11.2→▲7.6）、サービス業（▲13.1→▲9.5）、建設業（▲5.6→▲3.1）、製造業（▲12.2→▲11.8）と改善。一方、小売業（▲18.4→▲18.7）は悪化となった。

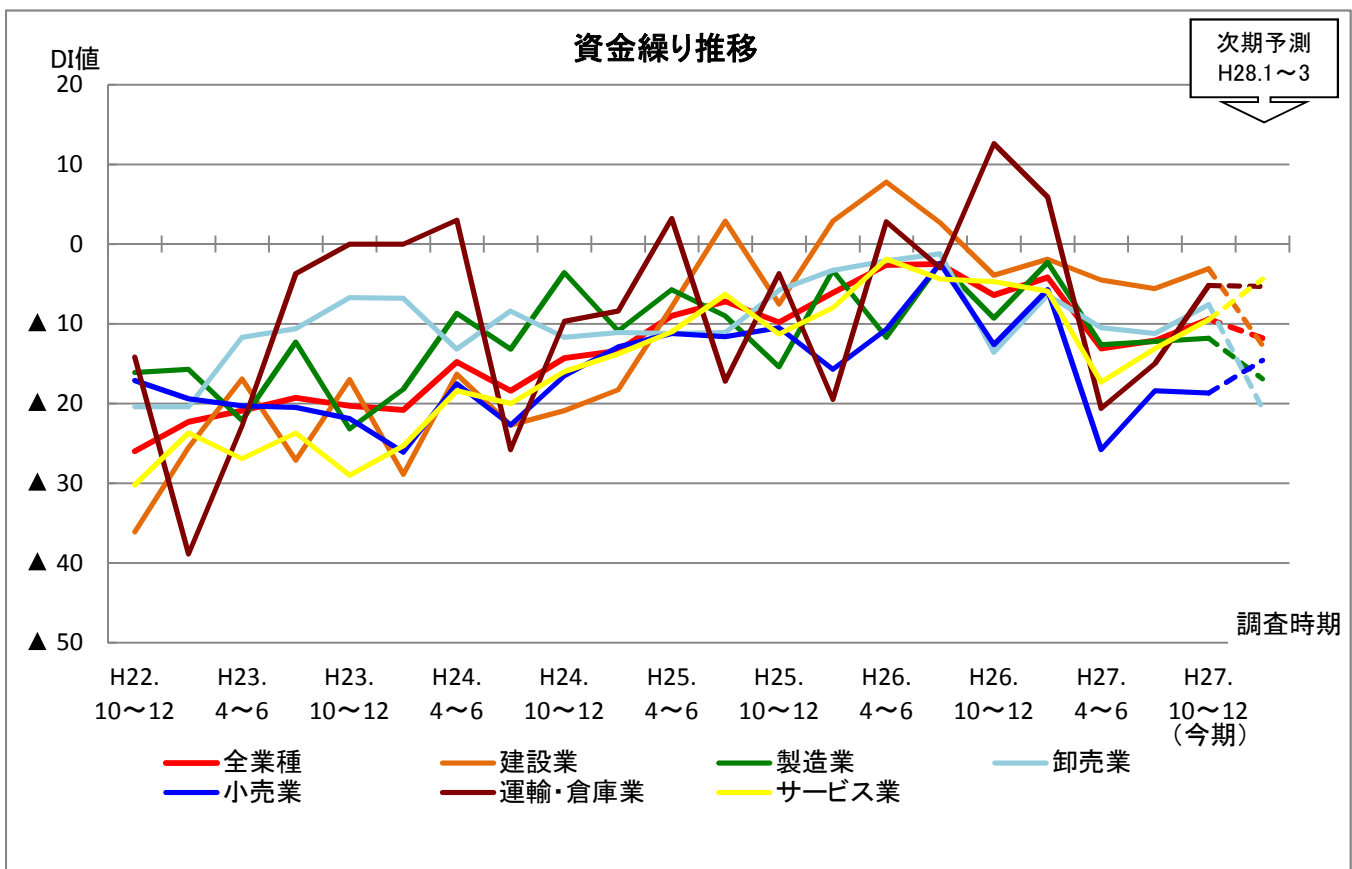
規模別にみると、中小企業（前期▲13.3→今期▲10.4）と改善。一方、大企業（12.0→9.1）は悪化となった。

次四半期（平成28年1月～3月）予測については、▲11.8となっており、今期比で-2.4ポイントと悪化の見通し。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(27年10～12期)実績					次四半期(28年1～3月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	13.0	63.1	22.4	1.5	▲9.4	8.1	61.9	19.9	10.1	▲11.8
建設業	17.5	61.9	20.6	0.0	▲3.1	9.5	60.3	22.2	7.9	▲12.7
製造業	10.2	67.8	22.0	0.0	▲11.8	5.1	61.0	22.0	11.9	▲16.9
卸売業	10.3	67.9	17.9	3.8	▲7.6	3.8	57.7	24.4	14.1	▲20.6
小売業	14.6	50.0	33.3	2.1	▲18.7	8.3	58.3	22.9	10.4	▲14.6
運輸・倉庫業	21.1	52.6	26.3	0.0	▲5.2	15.8	52.6	21.1	10.5	▲5.3
サービス業	12.4	65.0	21.9	0.7	▲9.5	10.2	67.2	14.6	8.0	▲4.4
中小企業	13.4	61.5	23.8	1.3	▲10.4	8.4	59.9	20.9	10.7	▲12.5
大企業	9.1	90.9	0.0	0.0	9.1	4.5	90.9	4.5	0.0	0.0



8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」41.8%（前期比+4.9ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」36.9%（前期比+1.6ポイント）、「営業利益の低下」30.2%（前期比-0.4ポイント）、「経費の増加」20.6%（前期比-6.4ポイント）、「販売価格への転嫁難」17.2%（前期比-0.3ポイント）となった。

業種別でみると、建設業「人材難、求人難、定着化の悪化」52.4%、製造業「販売価格への転嫁難」42.4%、卸売業「受注、需要の増加又は減少」44.9%、小売業「営業利益の低下」33.3%、運輸・倉庫業「人材難、求人難、定着化の悪化」84.2%、サービス業「人材難、求人難、定着化の悪化」47.4%がそれぞれ最も多かった。

規模別でみると、「人材難、求人難、定着化の悪化」が中小企業で41.4%、大企業で54.5%と最も多かった。

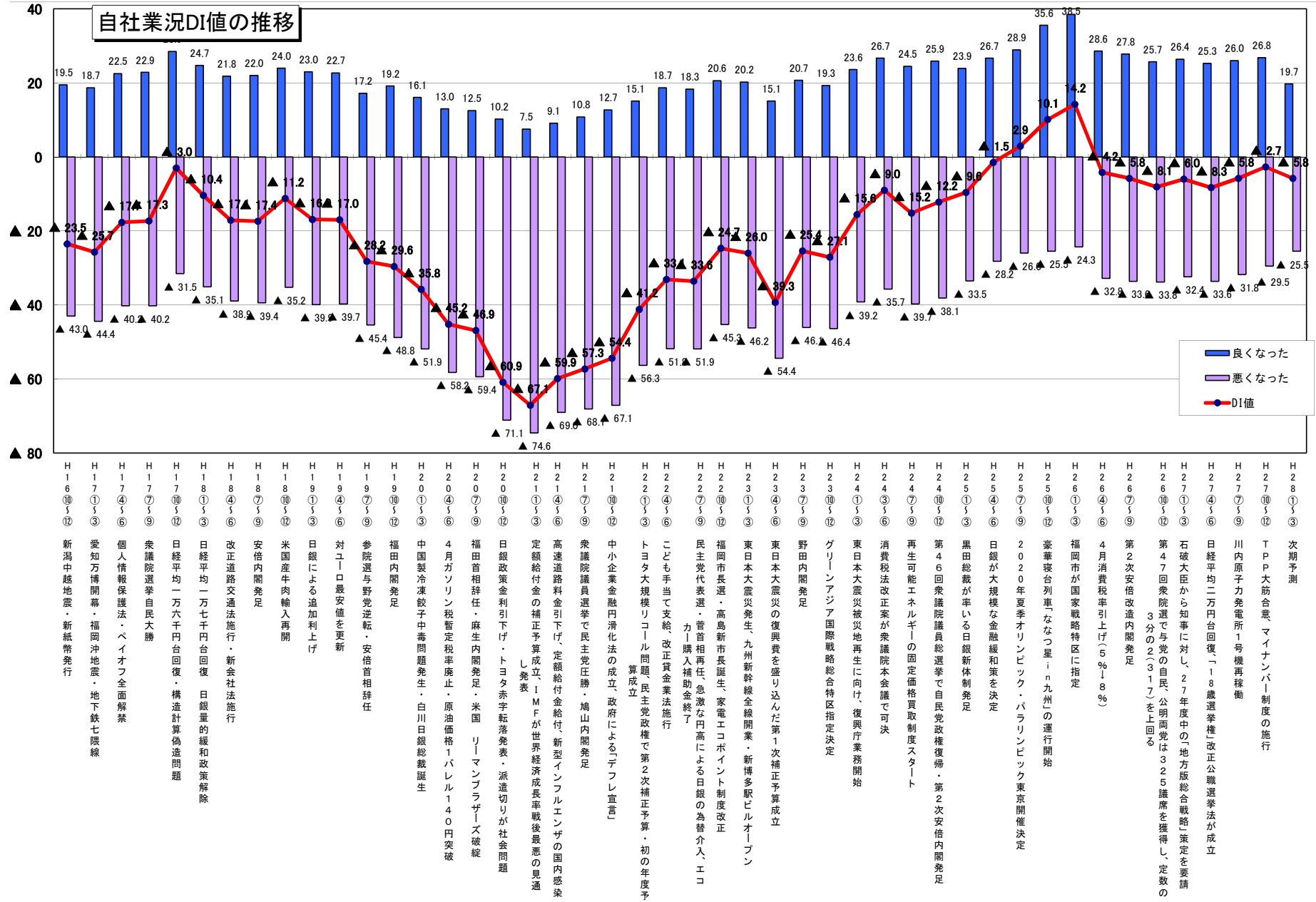
《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

(単位 %)

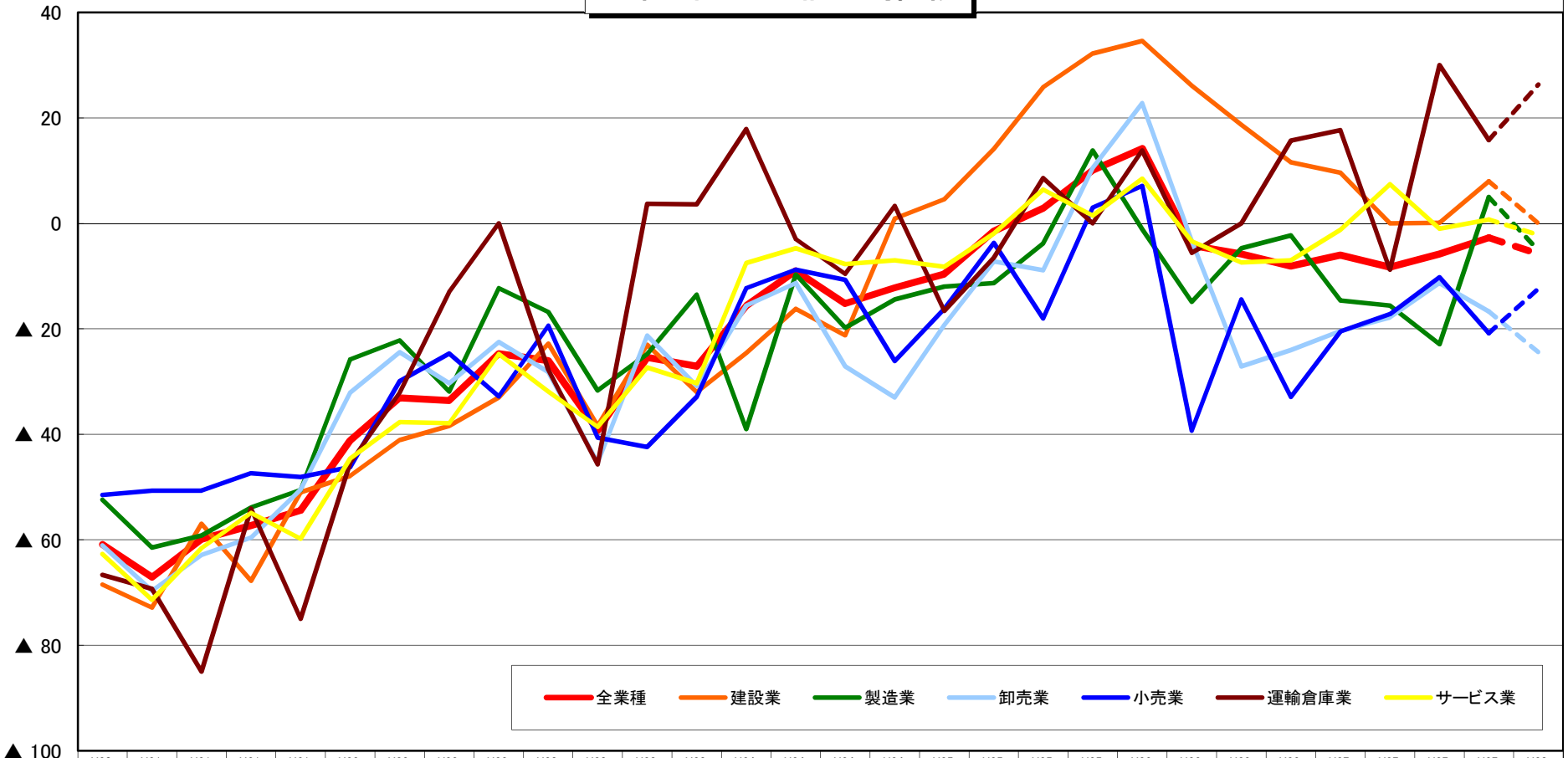
問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	天候などの自然	受注、需要の増加又は減少	出店、業者の進退	官公需の停滞	輸出の不振	少元(直)請の減	低操下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販代金の回収	化売掛期間の長期
全業種	15.0	36.9	14.7	9.3	1.0	3.9	5.7	15.5	7.1	3.4	17.2	2.5	2.0
建設業	15.9	50.8	1.6	20.6	0.0	12.7	4.8	9.5	1.6	1.6	6.3	1.6	3.2
製造業	22.0	40.7	15.3	5.1	1.7	1.7	13.6	28.8	22.0	3.4	42.4	1.7	0.0
卸売業	23.1	44.9	14.1	7.7	2.6	2.6	7.7	29.5	10.3	2.6	23.1	3.8	3.8
小売業	25.0	31.2	31.2	8.3	0.0	2.1	0.0	12.5	4.2	14.6	18.8	4.2	2.1
運輸・倉庫業	26.3	10.5	15.8	5.3	5.3	0.0	26.3	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0
サービス業	2.2	29.2	14.6	8.0	0.0	2.9	0.7	7.3	3.6	0.7	8.8	2.2	1.5
中小企業	14.1	36.9	14.7	9.2	1.0	3.9	5.8	14.9	6.0	3.7	17.0	2.6	2.1
大企業	31.8	31.8	13.6	13.6	0.0	4.5	4.5	22.7	27.3	0.0	22.7	0.0	0.0

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不陸、駐工場用地狭	店舗、老朽化、近	代剩、舗、設備過	上家が賃、地代の値	化難人、材定着、化求人悪	費人手過剰、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担の増加	難情報不足、人手	その他
全業種	20.6	30.2	3.7	7.9	2.2	41.8	9.3	3.4	3.9	2.7	4.4	3.7	5.4
建設業	17.5	30.2	3.2	1.6	0.0	52.4	12.7	4.8	7.9	1.6	1.6	0.0	7.9
製造業	27.1	32.2	3.4	13.6	0.0	27.1	6.8	0.0	3.4	3.4	10.2	3.4	5.1
卸売業	23.1	39.7	2.6	9.0	2.6	35.9	7.7	3.8	1.3	5.1	2.6	6.4	0.0
小売業	22.9	33.3	8.3	8.3	2.1	25.0	6.2	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2
運輸・倉庫業	15.8	26.3	10.5	10.5	0.0	84.2	10.5	15.8	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0
サービス業	18.2	23.4	2.2	7.3	4.4	47.4	10.2	3.6	3.6	2.2	5.1	4.4	8.8
中小企業	20.4	30.4	3.4	7.9	2.1	41.4	9.4	3.7	4.2	2.9	4.5	3.4	5.5
大企業	27.3	27.3	9.1	9.1	4.5	54.5	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5

自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)



自社業況DI値の推移



	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	H22.4~6	H22.7~9	H22.10~12	H23.1~3	H23.4~6	H23.7~9	H23.10~12	H24.1~3	H24.4~6	H24.7~9	H24.10~12	H25.1~3	H25.4~6	H25.7~9	H25.10~12	H26.1~3	H26.4~6	H26.7~9	H26.10~12	H27.1~3	H27.4~6	H27.7~9	H27.10~12	H28.1~3
全業種	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 41.2	▲ 33.1	▲ 33.6	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 39.3	▲ 25.4	▲ 27.1	▲ 15.6	▲ 9.0	▲ 15.2	▲ 12.2	▲ 9.6	▲ 1.5	2.9	10.1	14.2	▲ 4.2	▲ 5.8	▲ 8.1	▲ 6.0	▲ 8.3	▲ 5.8	▲ 2.7	▲ 5.8
建設業	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.9	▲ 41.1	▲ 38.4	▲ 33.0	▲ 22.8	▲ 38.4	▲ 23.0	▲ 32.0	▲ 24.6	▲ 16.2	▲ 21.2	0.9	4.6	14.1	25.8	32.2	34.6	26.1	18.7	11.6	9.6	0.0	0.1	8.0	0.0
製造業	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 25.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 12.3	▲ 16.8	▲ 31.7	▲ 24.8	▲ 13.5	▲ 39.0	▲ 9.7	▲ 19.8	▲ 14.4	▲ 12.0	▲ 11.3	▲ 3.8	13.8	▲ 1.1	▲ 14.9	▲ 4.7	▲ 2.3	▲ 14.6	▲ 15.6	▲ 22.9	5.0	▲ 5.1
卸売業	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 32.1	▲ 24.4	▲ 30.3	▲ 22.5	▲ 28.2	▲ 45.4	▲ 21.3	▲ 30.8	▲ 15.6	▲ 11.3	▲ 27.1	▲ 33.0	▲ 19.3	▲ 7.2	▲ 8.9	10.5	22.8	▲ 3.3	▲ 27.1	▲ 24.0	▲ 20.4	▲ 17.8	▲ 11.3	▲ 16.7	▲ 24.4
小売業	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 46.2	▲ 29.9	▲ 24.7	▲ 32.8	▲ 19.4	▲ 40.6	▲ 42.4	▲ 32.9	▲ 12.3	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 16.2	▲ 3.7	▲ 18.0	3.0	7.1	▲ 39.3	▲ 14.4	▲ 32.9	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 10.2	▲ 20.8	▲ 12.4
運輸倉庫業	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 45.4	▲ 32.1	▲ 13.0	0.0	▲ 27.8	▲ 45.7	3.7	3.6	17.9	▲ 3.0	▲ 9.6	3.3	▲ 16.6	▲ 6.5	8.6	0.0	13.8	▲ 5.6	0.0	15.7	17.7	▲ 8.8	30.0	15.8	26.3
サービス業	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 44.6	▲ 37.7	▲ 37.9	▲ 24.8	▲ 31.9	▲ 38.6	▲ 27.3	▲ 30.3	▲ 7.5	▲ 4.7	▲ 7.7	▲ 7.0	▲ 8.2	▲ 1.9	6.4	1.5	8.5	▲ 3.4	▲ 7.4	▲ 7.0	▲ 1.2	7.4	▲ 1.0	0.7	▲ 2.2